

地域の安心、安全や繁栄を祈願



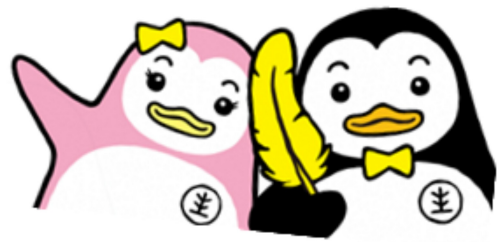
更生保護法人岩手保護院は、明治35(1902)年社団法人として設立されました。設立時の登記簿は、「岩手縣監獄の放免者にして改悛の情顕著なる倚るべき親族故旧なく、自活の途に窮する者及び居住なき者又は帰郷の資力亡き者を保護し適当な産業を授け良民に復歸せしむるを以て目的とするにあり。」記されています。敷地内には、京都の吉田神社の御影と言われる「玉兼稲荷社」が鎮座しております。盛岡信用組合(現在の盛岡信用金庫)初代理事長の高橋伊兵衛様と村井茂兵衛様が地域の安全や繁栄を祈願して建てられました。

←玉兼稲荷社

■施設の沿革

| | |
|----------|---------------------------|
| 明治36年 1月 | 英照皇太后の御七年忌辰を期して仏式の開院式挙行 |
| 大正 8年 6月 | 地域有志の寄附金を得て、現在地に移転 |
| 昭和 6年 6月 | 全面改築 1 回目 |
| 昭和48年12月 | 全面改築 2 回目 |
| 平成 8年 | 更生保護事業法が公布され、更生保護法人に法人名変更 |
| 令和 8年 | 全面改築 3 回目 |
| | 新施設完成に伴い施設名称を「こずかた」に改称 |

この度の全面改築事業に御支援・御協力を賜りました皆様に衷心より御礼申し上げます。



※この事業は、赤い羽根共同募金と公益財団法人JKAの助成を受けて実施しました。

更生保護施設 こずかた内覧会



■内覧会日時
令和8年5月7日(木)
8日(金)
9日(土)
午前の部：10時30分
午後の部：2時
(1日2回開催)

■内覧会次第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 更生保護施設の説明
- 4 施設見学
- 5 質疑



新施設全面改築工事竣工

ご挨拶



更生保護法人 岩手保護院
理事長 吉田 大信

本日はお忙しい中、私どもの新施設「更生保護施設こずかた」の内覧会にお越しいただき、誠にありがとうございます。こうして無事に新施設が完成し、お披露目することが出来ますのもひとえに本日お集まりいただいております皆様方のご協力や、岩手県を始めとして県内三十三自治体からの助成、更生保護関係諸団体、寺院や企業、そして一般の方々からの寄付等物心両面でのご支援、そして盛岡保護観察所のご指導があつてのことです。また、この事業は、赤い羽根共同募金と公益財団法人JKAの助成を受けて実施致しました。

この新施設建設にあたりましては、設計を担当してくださいました株式会社久慈設計様や、工事の施工を担当してくださいました株式会社カガヤ建設様をはじめ、建設委員や関係者の皆様方には大変感謝しております。こうして建物を完成させる事が出来、皆様に披露する事が出来ることを大変嬉しく思っております。

幸い着工以来事故も無く、工事も予定通り進み、竣工することが出来ましたのも、ひとえにご列席の皆様のご指導やご協力があったからに外ありません。また町内の皆様にも工事中は何かとご迷惑をお掛けしたと思いますが、ご理解、ご協力を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

私どもにとって、この不安定で不透明、かつ目まぐるしく変化する社会情勢といった非常にきびしい経営環境での新施設の建設は容易なものではありませんでした。しかし、時代がどう変わろうとも、「誰一人取り残さない明るい社会、安心安全な地域を守る」という更生保護の目的は変わりません。この新施設竣工を機に、私どもは覚醒し、地域に開かれた施設として、また更生保護関係諸団体の皆様を活用していただける施設として、皆様方のご支援とご協力を賜りながら、皆様方と共に新しい更生保護活動を進めてまいりたいと思います。

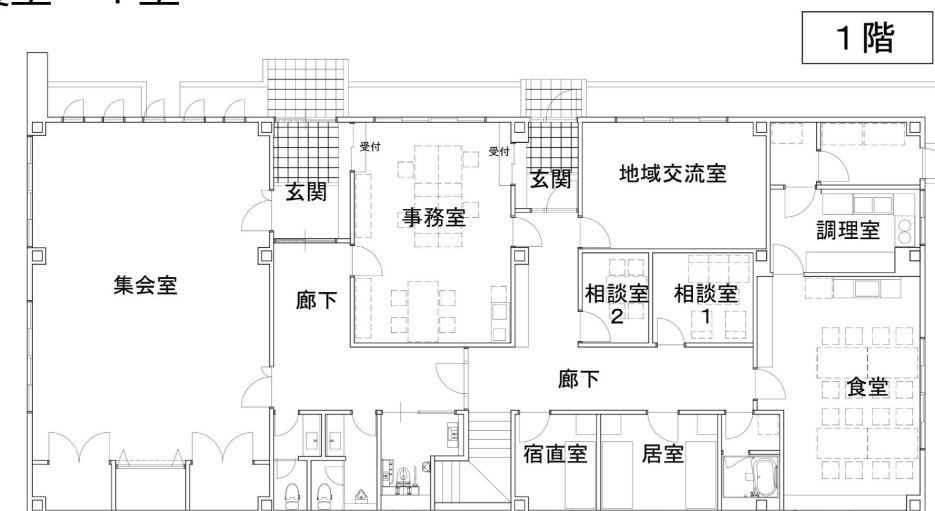
これからも皆様方には変わらずご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございます。

更生保護施設こずかたの概要

- 建物の構造：鉄骨造2階建 ●延床面積：578.83㎡ ●定員：13名
- 居室：13室 ●休養室：1室

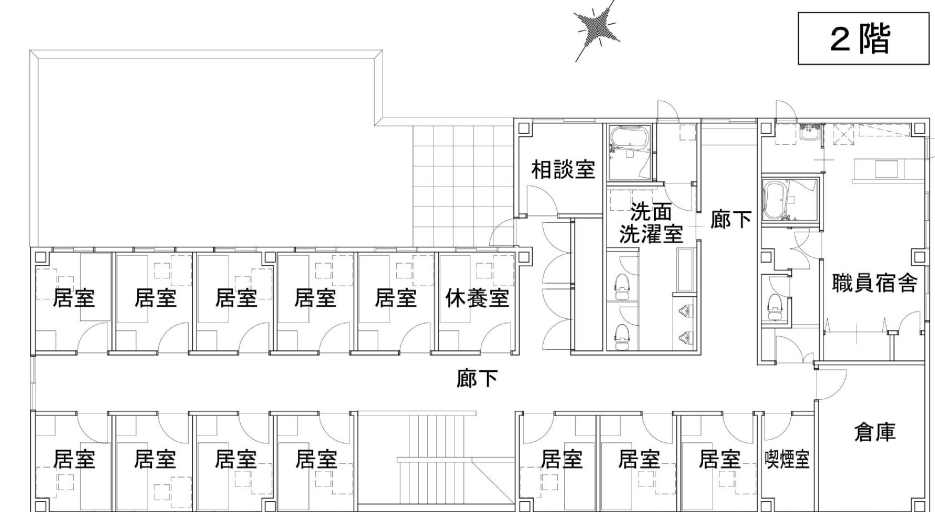
1階

集会室
地域交流室
事務室
相談室
食堂
浴室



2階

職員宿舎
居室
相談室
浴室
倉庫
物干場



地域交流室



食堂

— 今後の活動について —

- 1 地域社会への施設開放
- 2 更生保護団体や地方公共団体との連携を強化
- 3 退所した人への支援（フォローアップ）
- 4 更生保護の中核的施設としての活動